

株式会社 WOWOW プラス 番組審議会議事録 (2019 年 10 月 21 日開催分)

開催年月日： 2019 年 10 月 21 日(月) 17:00~20:00

開催場所： Café WASUGAZEN

委員の出席： 番組審議員 6名  
WOWOW プラス 8名

出席者

[審議員] 池ノ辺直子、草場滋、高寺成紀、富澤一誠、村上典吏子、  
湯浅正敏

(以上 50 音順、敬称略)

[放送事業者] 牧野力、郡司誠致、宮澤辰之、林 哲生、  
松田健吾、青木昭、山下泰司、伊藤里沙(記)

議題： (1) 2019 年 7 月~9 月のシネフィル WOWOW に対する視聴者からの問い  
合わせや指摘・意見について  
(2) シネフィル WOWOW の番組内容、編成内容に関する審議

報告事項： 2019 年 7 月~9 月におけるシネフィル WOWOW に対する視聴者からの問い  
合わせや指摘・意見について、当社編成制作局長より、その件数や代表的  
な内容といった概要説明を行った。

審議事項： [審議番組] 戦争映画特撮術：空軍大戦略 [特撮コメンタリー付き]

<番組概要>

8 月、9 月は戦争映画の「特撮」の魅力に迫る！

実機を使ったダイナミックな撮影、ミニチュアの巧みな操演、爆発、オブ  
チカル合成……

戦争映画の名作を観ながら、各界の筋金入りのミリタリー通が副音声の<  
特撮コメンタリー>で熱く語る、2ヶ月連続の特別企画です。

映画に登場する戦闘機や艦船そのものについての解説や、時代考証、映画  
ならではの作劇法、そして特撮のテクニックなどについて、専門家、超マニ  
アならではの視点で深掘りします。

審議内容： ■審議員意見

- ・シネフィル WOWOW がやるべきことはこれだという、面白い企画。副音  
声でなく主音声でやっても良い。コメンタリー・ゲストの 3 名がこの  
映画にはジャストな人選だった。コメンタリーが付くことで 2 時間

半という長さの映画でも飽きずに観られる。

- ・特撮というより実機・ミニチュア撮影がメインの映画なので、「特撮術」というタイトルにはそぐわないのではないかと。ただ、昔の映画にひと手間を加えて見方が変わるとするのは面白いし、他ではない企画だと思うので、バリエーションを変えて続けて欲しい。
- ・戦争映画に興味がないと厳しく、「特撮術」というタイトルの割には淡々としていてメイキングの面白さもなかったため、戦争もの以外の特撮映画でも観たい。
- ・オーディオコメンタリーというのは、既に映画を知っている人がさらに知りたいと思って初めて成り立つ企画であり、初めて映画を観る一般の人にとっては蛇足でしかないと思う。
- ・映画を観ていないと最初はついていけないが、一度観てから聞き直すと面白い。普通に観るだけでなく何度も視聴することで楽しめる、映画の様々な楽しみ方を示すシネフィル WOWOW ならではの企画だと思うので、続けて行って欲しい。

#### ■審議員長総評

- ・コメンタリーが付くことで飽きずに観られる一方、初めて観る人や関心がない人に向かないのは課題。しかし“共感”を“共有化”するという良い試みではあるので、今後は戦争映画というジャンルにこだわらず、この企画をフォーマットとして新たなカテゴリーでの展開に期待。

-----  
連絡事項： 次回番組審議会は、2020年1月16日（木）11：00開催予定。

以上